

第1回地方創生懇談会でのご意見への対応について

1. 栗東市デジタル田園都市総合計画(素案)に関すること

ページ 番号	項目等	意見	意見等に対する事務局案
3	国、県の総合戦略との関係	施策を推進するためには、国や県とバクトルを合わせた施策展開が必要(交付金や支援面で違いが出る可能性がある)	基本的な考え方や基本方針については、国や県の総合戦略を踏まえ、策定を行います。
41～42	安心して働けるまちをつくる	子育て世代の定着も必要と感じますが、18～24歳世代にも、地元定着の施策を検討を進めていければと感じます。安心して働けるまちづくりの施策の中で、学校と協力して地元企業への就職斡旋などに力を入れてもよいと思いました。	「安心して働けるまちをつくる」視点に「雇用の拡大・人材の確保に関する支援」を追加し、具体については実行計画で定めてまいります。
41～42	安心して働けるまちをつくる	企業立地は、雇用促進、地域経済の活性化に大きく影響すると考えている。	
	プロジェクト3	生活基盤の充実プロジェクトの内容で、子育て世代の働く場所の紹介等あればいいと思います。	
39	重点課題と重点課題の解決に向けた考え方	今回の総合計画のコンセプトや市としての強い思いは、この1ページに集約されていると感じました。総合計画を今後概要版や広報等で発信していく際、このコンセプトをもっと前面に押し出し、官民で取り組んでいく(P46参照)姿勢を訴えてはどうでしょうか。	まずは市としての課題認識及び重点課題に対する重点プロジェクトを前面に出し、官民の共通理解が深まるよう努めてまいります。
43	KGIおよび各KPI	KGIに直結する(この取組みをすれば「必ず」KGIに反映される)施策およびKPIを策定するのがよいと思います。 また、各KPIの粒度が異なっているため、まずは「住宅着工件数」のようにアンケートではない定量的なものに指標を合わせると、今後の実施計画が論理的に策定しやすくなり、取組みも即時に検証しやすくなると思います。	KGIに直結する施策およびKPIについて、重点プロジェクトで掲げる3本柱を代表する施策はあっても、それぞれ1つに絞ることは難しく、複数の施策を並列的に取り組む必要があります。このことから、戦略においては、代表的な重要業績評価指標のみを示し、数値目標については、本年度下半期に策定を予定している実行計画において、KGIに直結するその他の取り組みを含め、設定していくこととします。

2. その他自由記述

ご意見	意見等に対する事務局案
パブリックコメントを募集する際、ワールドカフェのようなイベント形式で、市民や企業の方々と一緒に総合計画を読み合いながら、コメントを募っていったはどうでしょうか(パブリックコメントの提出はきちんと市の制度に則ることを前提として)。	多様な主体との連携方法については、ご意見を参考に、今後、検討してまいります。
人口をいかに、流出させないかの方策を考えるべきであり、住宅の指導要綱の緩和・子育て世代への支援の充実が必要。 近隣市との対比を住民がされます。何が栗東市に住むことのメリット(特徴がある支援策)であるかの検討が必要と思います。	実行計画を策定する際には、現行制度の見直しや特徴的な取組など、多様な施策の洗い出しを行いながら、より効果的な実行計画となるよう努めてまいります。